

(仮称) 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の取組状況等について

I 取組の背景

地方創生の取組みについては、2008 年から始まっている「人口減少社会」が進むことによる「経済規模の縮小」や「成長力の衰退」等により、経済社会への大きな打撃となることが危惧されていることから、その対応策として、それぞれの地域の特性に即した課題解決策を講じていくものです。

平成 26 年 12 月に施行された「まち・ひと・しごと創生法」では、「人口減少の歯止め」を目的に、「それぞれの地域で住みよい環境を確保し、一人一人が夢や希望を持ち、安心した生活を送れるような地域社会の形成（まちづくり）」、「地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保（ひとづくり）」、「地域の魅力ある多様な就業機会の創出（しごとづくり）」の、3つの視点から、課題解決を図っていくこととされています。

町においても、国の人口予測同様、人口問題研究所の推計によると、2040 年（平成 52 年）には、現在の人口から約 7,000 人程度減少し、約 40,500 人程度になるとされ、高齢化率についても、現在の約 24%程度から 34.3%と約 10%超上昇するとされています。

よって、町でもこのような現状予測を踏まえ、人口減少による労働力の減少・地域経済の縮小及び税収の減少による公共サービスの提供等への影響が懸念されていることから、国の創生法に則り、自立的な町であり続けるよう人口減少社会への対応策として総合戦略策定に取り組むこととしました。

II 寒川町人口ビジョン及び総合戦略策定のための取組とその概要

(1) 基礎調査

○目的

「町人口ビジョン」及び「町総合戦略」の策定にあたり人口減少社会に対する町としての対応策検討のため、人口の現状分析・地域特性の把握を目的に実施したもの。

○分析項目

- 「人口動態」に関するもの
人口、出生、死亡、転入、転出等に関する統計分析
- 「しごとづくり」に関するもの
経済基盤、労働基盤に関する統計分析
- 「ひとの流れ」に関するもの
人口分布、人口流出、人口流入に関する統計分析
- 「結婚・出産・子育て」に関する分析
出生率、出生数、保育環境に関する統計分析
- 「まちづくり」に関する分析
世帯構成、行政基盤、居住環境等に関する統計分析

○取組結果等

資料 2 【基礎調査結果】参照

(2) 文教大学との連携による「地方創生プロジェクト」(まちづくり政策提案)

○目的

総合戦略の策定にあたっては、既存資源の有効活用を図ったものとしていくことや若い世代の発想力等を活かしたものとするという趣旨から、今ある「町の資源」を若い世代の目線から感じてもらい、それらを活かした学生目線でのまちづくり政策の提案を行ってもらうことを目的に実施した。さらに、町の魅力を広く情報発信するためのプロモーションビデオの作成も併せて実施している。

○実施日等

■平成 27 年 5 月 20 日 (水)

「さむかわ創生プロジェクト～まちづくり提案～」キックオフ会議

■平成 27 年 5 月 27 日 (水)

「さむかわ創生プロジェクト」経営学部・情報学部合同「まち歩き」

■平成 27 年 7 月 15 日 (水)

「さむかわ創生プロジェクト～まちづくり提案～」発表会

○取組概要

経営学部・情報学部の学生、企画政策課職員及び若手のアドバイザー職員の参加により実施した町内の町歩きを通し、それにより得た情報や感じたものを素材に政策立案及び発表会を実施した。

また、プロモーションビデオ作成については、町歩きやその他町内で開催されたイベント等の様子を素材に本年 12 月を目途に現在作成中。

○取組結果等

資料 3 【地方創生プロジェクト概要】参照

(3) 町民ワークショップの開催

○目的

総合戦略策定にあたっては、町の現状課題等を踏まえたうえ、町民ニーズを的確に反映させ構築していく必要があることから、町民が感じている地域特性とニーズの把握、さらには、持続的で自立的な町であり続けるために有効と考える施策ニーズの把握を目的に実施した。

○実施日等

■日時：平成 27 年 7 月 26 日 (日) 午前 9 時～及び午後 1 時 30 分～ 計 2 回

■場所：寒川総合体育館 会議室

■参加者：33 名

■テーマ：

- ・あなたが考える普段感じる寒川町の魅力は何ですか
- ・寒川で普段生活していて「もっとこうなったらいいのに」と思う事は何ですか
- ・若い世代の人々を寒川に呼び込むための「作戦」を考えてください

■その他：参加者については公募を行うとともに、若い世代からの意見を特に頂きたいということから、PTA 連絡協議会に参加要請を行った。

○取組結果等

資料 4 【町民ワークショップ実施報告書】参照

(4) 関係団体ヒアリング（企業ヒアリング）の実施

○目的

地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごと創生と好循環の確立に向けた施策の検討に向け、企業・事業所の現状と課題及びニーズの把握を行うことを目的として実施したものの。

○実施日等

■実施期間：平成27年7月24日～8月27日

■実施企業数：10社（依頼15社）

○取組概要

アンケート形式の事前ヒアリングシートを踏まえた個別ヒアリングを実施した。ヒアリングにあたっては、「地域企業が活性化するネットワークづくり」「通勤流入者を転入促進に結びつける」「子育ての両立と出生率の向上」の3項目を狙いとして実施した。

○取組結果等

資料5【企業ヒアリング実施報告書】参照

(5) 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会の開催

○開催日

第1回：平成27年7月1日（水）

主なテーマ 【地方創生の概要、基礎調査結果等について】

第2回：平成27年9月10日（木）

主なテーマ 【取組状況、人口ビジョン（案）、総合戦略の方向性について】

Ⅲ これまでの取組結果の取り扱いと今後の取組み

これまでの各取組における結果のほか、昨年度（第2次実施計画策定時）実施した町民等アンケート調査結果等を「素材」とし、人口ビジョンを踏まえ、今後、企画政策課及び主管課と協議のうえ総合戦略（案）の策定作業を進めていきます。

また、さむかわ2020プラン後期基本計画第2次実施計画に搭載されている各事業からも、方向性が合致するものについては、当戦略に組み込んでいく予定としています。

さらに、総合戦略（案）の策定にあたっては、その方向性や戦術のアイデアを広く町民から募集し、提出されたアイデア等も含め総合的に勘案したうえ、取りまとめていくことを想定しています。

◇「みんなでつくろう さむかわ」地方創生アイデア募集

○目的

町民ニーズを的確に反映させた総合戦略の構築に向け、「町の人口ビジョン（案）」及び「総合戦略の方向性（案）」に対する意見や具体的な戦略等のアイデアを広く募ることにより町民ニーズの把握を行うことを目的として実施するもの。

○実施日等

平成27年10月7日（水）～10月28日（水）

○取組概要

募集にあたっては、町民の意見をより効果的に反映させていくため、町が考える方向性や骨子等（総合戦略施策体系（案）等）の柔軟い段階のものを示しながら（「柔軟い段階でのパブリックコメント」の意味合い）、施策の方向性や戦術に対し広くアイデアを募集する。

募集は、ホームページ及び各公共施設において関係資料を配架のうえ実施予定。

IV 人口ビジョン（案）について

1. 目的

少子高齢化対策や人口減少対策の施策をより一層推進するためには、町、住民、NPO、関連団体、民間事業者等が同じ将来の方向を向いていくことが重要であることから、町の人口問題に関する基本認識の共有を図ることを目的とするとともに、目指すべき将来の人口と取り組むべき方向を町民等に示すため策定するもの。

また、ビジョンの対象期間は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の期間と整合をとり、2015年（平成27年）～2060年（平成72年）までとします。

2. 人口シミュレーションの実施及び将来展望

寒川町の将来人口推計（過去の出生率と人口移動率の継続が前提）結果から、町の人口は48,167人（2015年）から2060年には、36,282人となることを見込まれることを受け、出生率及び人口移動率を改善させた場合、どのような水準となるのか人口シミュレーションを以下の仮定値を設定のうえ実施した。

■出生率：

2020年までに1.6、2030年に1.8、2040年に2.07（国の長期ビジョンと同様）

■人口移動率：

若い世代の流入を目指し39歳以下の人口移動率を5%（※）改善

※仮定値5%改善を設定した考え方（参考資料参照）

- （1）高齢化率の抑制への対応
- （2）不足が見込まれる労働力の確保
- （3）高齢化に伴う老人福祉費の増加への対応

3. 人口の将来展望

上記シミュレーションの結果から、目指すべき将来人口（2060年）を44,656人とする。

4. 目指すべき将来の方向

（1）雇用機会の確保と産業の創出

- ・町には、製造業を中心とした安定的な雇用が確保されていることから、強みをさらに活かすことが必要（基礎調査等）
- ・買物等の商業施設整備の一環として、町民による商業施設の開業を促進する施策推進が課題（アンケート、ワークショップ等）

(2) 若い世代の子育て環境の整備

- ・町の出生率は全国平均をやや下回っていることからその向上が課題（基礎調査）
- ・子どもの数が少ない要因は、子育てに伴う経済的な不安が多い（アンケート等）
- ・結婚を阻む要因は、「出会いが少ない」こと（アンケート）

(3) まちの魅力向上

- ・町外から多くの通勤者が寒川町に流入していることから（基礎調査）、この通勤者に対し定住促進を図ることが課題
- ・さらなる魅力向上のため、交通環境整備等の利便性の向上を図ることが課題（アンケート等）
- ・湘南エリアを対象とした転入機会において寒川町が居住地として認知されるよう（文教プロジェクト等）情報発信を強化する必要がある

V 総合戦略について

1. 目的と策定状況

人口ビジョンに示す将来展望を実現するための施策等の手段を示すために策定するもので、各施策や取組みにKPI（重要業績評価指標）を設定することとなる。

総合戦略の策定状況は、現段階では、これまでの取組みから得られた情報等を勘案し、国の4つの基本目標に則り、施策体系を作成するとともに、各施策における既存の取組み状況や、これまでの意向把握等の取組みにより提案のあった事業等についても整理を進めている。

今後、事業主管課等と具体的な戦術（事業）について協議のうえ財政計画上の整合も図りながら取りまとめていく予定で、取りまとめ結果によっては、必要に応じて施策体系の変更も行っていく。

2. 施策体系（H27.10.2現在）

基本目標Ⅰ：地域全体で寒川町の経済成長を支え安定した「しごと」を育みます

- (1) きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進
- (2) 地域の魅力となる新たなビジネスの応援
- (3) 地域経済成長を支える人材の育成と確保

基本目標Ⅱ：寒川町を知ってもらい、新しい人の流れをつくります

- (1) アピールポイントの発見・創出と発信力の強化

基本目標Ⅲ：子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります

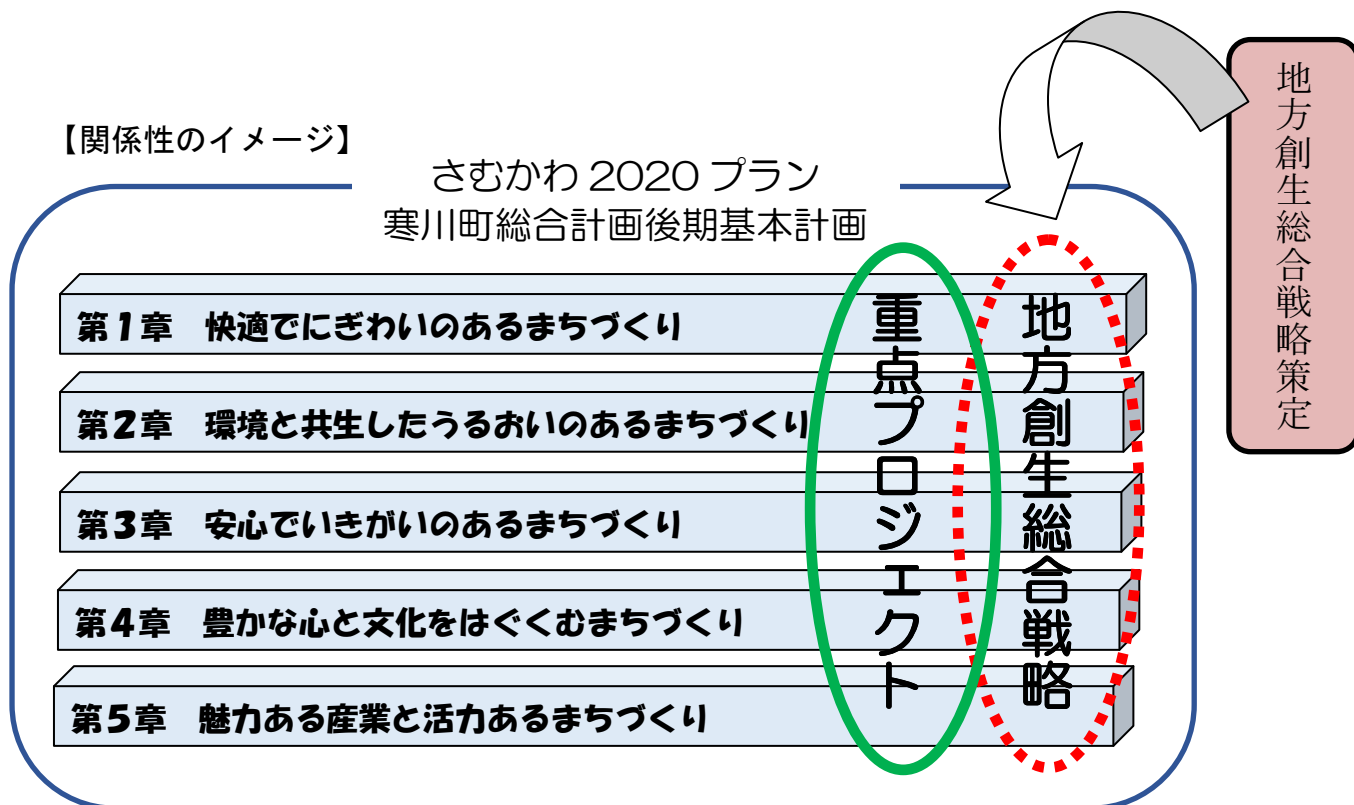
- (1) 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実
- (2) 学力の向上と家庭教育支援の充実
- (3) 子育てを応援する地域社会の実現

基本目標Ⅳ：発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります

- (1) さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実
- (2) 若い世代との協働関係の構築
- (3) より快適な生活の実現に向け交通環境の整備

VI 地方創生総合戦略と総合計画の関係性

総合計画は、あらゆる分野からのアプローチにより、まちの将来像の実現を総合的に目指していく「町政の指針」ですが、地方創生総合戦略は、将来像の実現のための重要な要素の1つである「人口減少対策」を目的とした計画であり、分野別施策の枠組みにとらわれず、施策を横断的に捉えたものである「重点プロジェクト」と方向性を一にする部分も多くあることから、総合戦略に位置付ける各事業については、総合計画に包含し、後期基本計画の各分野別体系に位置づけを行っていきます。



VII その他今後の会議等スケジュール

- 平成 27 年 10 月 2 日（金）：総務常任委員会協議会
- 平成 27 年 10 月 7 日（水）～ ：「みんなでつくろう さむかわ」地方創生アイデア募集
- 平成 27 年 11 月上旬：第 3 回策定等外部委員会
- 平成 27 年 11 月中旬：第 2 回総合計画審議会
- 平成 27 年 12 月上旬：寒川町議会 12 月会議にて報告（総合戦略（案））